

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和3年度)

施設の名称	宮城県長沼ボート場(アイエス総合ポートランド)
指定管理者の名称	宮城県ボート協会
施設所管部課(室)	企画部スポーツ振興課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘要
平成18年4月 ~ 平成21年3月	指定管理者	宮城県ボート協会	
平成21年4月 ~ 平成24年3月	指定管理者	宮城県ボート協会	
平成24年4月 ~ 平成27年3月	指定管理者	宮城県ボート協会	
平成27年4月 ~ 令和2年3月	指定管理者	宮城県ボート協会	
令和2年4月 ~ 令和7年3月	指定管理者	宮城県ボート協会	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	宮城県ボート協会
	所在地	宮城県石巻市田道町1丁目6-18
指 定 期 間	令和2年 4月 1日 ~ 令和7年 3月31日 (5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施設の名称	宮城県長沼ボート場(アイエス総合ポートランド)	
所在地	宮城県登米市迫町北方字天形114-2	
設置年月	平成元年10月	
根拠条例等	総合運動場条例	
設置目的	スポーツの普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達と福祉の増進に資するため。	
施設の内容	敷地面積	2,202.02㎡
	構造	鉄骨造平屋建
施設の内容	内 容	1 艇庫・トレーニング室・会議室・更衣室 2 ポートコース 延長2000m 8レーン【公認A級コース】 3 判定塔(鉄筋コンクリート3階建)
	開館(所)日	4月から9月まで 休館日(月曜日)を除く毎日 10月から3月まで 休館日(月曜日・火曜日・年末年始12/28~1/7)を除く毎日
開館(所)時間	会議室・トレーニング室 4月1日から9月30日まで 午前6時00分 ~ 午後8時00分 10月1日から3月31日まで 午前10時00分 ~ 午後5時00分 ボート場 4月1日から9月30日まで 午前6時00分 ~ 午後6時00分 10月1日から3月31日まで 午前10時00分 ~ 午後5時00分	
指定管理者が行う業務の範囲	1 施設全体の管理運営業務 2 施設の使用許可申請の受付及び許可並びに利用料金の収受に関する業務 3 施設の使用の制限及び入場の拒否等に関する業務 4 施設の機械設備の操作・日常点検業務 5 施設・設備、物品及び敷地の維持管理業務 6 その他施設の管理運営業務に関して宮城県が必要と認める業務	
利用料金制	採用の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利用料金の名称	施設利用料

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和3年度) (A)	前 年 度 (令和2年度) (B)	評価対象年度 (令和3年度) (C)		
開館(所)日数	279 日	287 日	279 日	100.0%	97.2%
延べ利用者数	21,230 人	4,523 人	16,561 人	78.0%	366.2%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和3年度) (A)	前 年 度 (令和2年度) (B)	評価対象年度 (令和3年度) (C)		
トレーニング室	700 人	491 人	373 人	53.3%	76.0%
ボート(艇)	10,000 人	691 人	8,926 人	89.3%	1291.8%
判定塔	100 人	68 人	98 人	98.0%	144.1%
ボートコース	10,000 人	3,191 人	6,892 人	68.9%	216.0%
審判艇(モーターボート)	200 人	70 人	254 人	127.0%	362.9%
会議室	200 人	12 人	18 人	9.0%	150.0%
シャワー室	30 人	0 人	0 人	0.0%	#DIV/0!
合 計	21,230 人	4,523 人	16,561 人	78.0%	366.2%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和3年度) (A)	前 年 度 (令和2年度) (B)	評価対象年度 (令和3年度) (C)		
県指定管理料	12,901	12,564	12,901	100.0%	102.7%
利用料金収入	300	292	1,353	451.0%	463.4%
その他	2,401	602	2,933	122.2%	487.2%
収入計 (a)	15,602	13,458	17,187	110.2%	127.7%

(2) 支出

人件費	3,000	2,960	3,233	107.8%	109.2%
施設管理費	8,600	8,398	9,004	104.7%	107.2%
事業運営費	2,070	1,801	4,019	194.2%	223.2%
その他	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
支出計 (b)	13,670	13,159	16,256	118.9%	123.5%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	1,932	299	931	48.2%	311.4%
前期繰越収支差額	299	0	299	100.0%	#DIV/0!
次期繰越収支差額	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

5. 自主事業収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入 (単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和3年度) (A)	前 年 度 (令和2年度) (B)	評価対象年度 (令和3年度) (C)		
事業費	100	6	31	31.0%	516.7%
参加料収入	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
				#DIV/0!	#DIV/0!
収入計 (a)	100	6	31	31.0%	516.7%

(2) 支出

人件費	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
施設管理費	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
事業運営費	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
その他	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
支出計 (b)	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	100	6	31	31.0%	516.7%
前期繰越収支差額	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
次期繰越収支差額	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!

6. 評価対象年度(令和3年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
				評価		評価
①管理運営体制	<p>コロナ渦における最近運営は、大会等も中止となり利用料収益が上がらなかったが、令和3年度はポーランドのオリバラの選手が事前合宿で長沼を利用したことで多大なる収益があがった。人員配置については、ボート協会等の協力を貰っていたが、出来るだけ安全管理のため2人体制をとるため令和4年度の全国中学選手権競漕大会事務局業務のため非常勤職員を2名に増やした。</p>		<p>水上スポーツという特殊性があり、安全管理に重点をおいた。単独での借艇やコース利用の際は急な天候の変化や事故防止のため常に利用者を監視している必要がある。他の利用者にも声をかけ事故防止に努めている。令和3年度は大会が少なかったが、事故やトラブルもなく業務できたと思っている。</p>		<p>各種大会が計画どおり開催されていた。安全管理向上のため非常勤職員を昨年に比べ1名増員する等の対応が見られ、管理運営も適切である。</p>	
人員体制	正規	1人	非正規	2人		
②施設・設備の維持管理業務の実施	<p>通常の点検・巡視等を行っているが、有資格者が必要な警備・点検業務等は委託業務として専門業者に依頼している。その他にコースの設置・撤去についても委託業務として外注している。</p>		<p>委託の点検等については、職員が立ち会いました。コース設置業務についても厳重な立ち合いと検査を行っている。また、記録システムの修正やバージョンアップを毎年行っている。</p>		<p>外部委託のほか、施設・設備の自主点検を行っている。また、経費節減に努め、必要な修繕・備品購入等についても適切に実施している。</p>	
③運営業務(ソフト事業等)の実施	<p>長沼ポート場で開催されるボート大会には全面的に協力をし、また利用料徴収や規則どおりに減免等を行っている。大会や事業の際は、新型コロナウイルス感染防止対策を厳重に行い、コロナウイルス感染防止を実施している。</p>		<p>新型コロナウイルス感染防止対策補助金等を有効活用し、コロナウイルス感染防止を実施している。また、利用者に対しても体調確認や検温を行いクラスター等の発生防止に努めている。</p>		<p>大会開催時には、大会運営や施設管理について協会員がボランティアとして補佐し、施設利用者のサービス充実にも努めた。また、新型コロナウイルス感染症対策を適切に行い支障なく実施している。</p>	
④自主事業の実施	<p>昨年度同様に、ボート協会所有の無線機や移動機橋・集会用テント等の備品等も使用できるようにして有料貸出事業を行っている。</p>		<p>ボート協会所有の無線機と県で購入していただいた無線機の区分けを行い適切に貸出している。いまだに新型コロナ感染が相次ぎ利用収入は減っているが、ボート協会と連携して施設管理を行っている。</p>		<p>指定管理者が競技に精通していることから、常に施設利用者に対して技術的指導・助言を行っている。平成30年度より、備品貸出事業を開始し、施設整備資金の確保に向けた取り組みを行っている。</p>	
⑤利用者サービスの向上	<p>施設の利便性を図るために、早朝練習や合宿時の練習のスケジュールに合わせ開館時間を調整している。特に大会時等は、早朝から準備が必要なことから利用時間の融通を図っている。</p>		<p>月に1度、B&G海洋センター及び長沼物産協会と3者会議を開催し、近隣施設と情報交換を行い利用者の獲得を行っている。その他にも、登米市との連携を行い、市の事業やイベントでの長沼ポート場の利用を推進している。</p>		<p>休館日であっても、利用要望を考慮し、開館するなど、利用者ニーズに応じて柔軟に対応している。</p>	
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	<p>利用者満足度アンケートを行い、サービスの向上を図っている。利用者数の向上を図るために、一般や大学へ合宿や体験を呼びかけを行いポート場の利用を推進している。</p>		<p>利用者満足度アンケートの集計と利用者の意見を尊重し、使いやすいポート場を目指している。部活動での利用についても顧問の先生と密に連絡を取りながら施設利用の利便性を図っている。</p>		<p>施設内にアンケート調査箱を設置し、苦情・要望等の把握に努めているが、回収件数は少ない。アンケート内容を改正するなど、利用者の意見をより多く取り入れようとする工夫も見られるため、引き続き、利用者への積極的な働きかけに期待したい。</p>	
⑦安全対策	<p>部活動時の生徒等の動向を監視し、また顧問の先生と意見交換を行い安全な施設利用を図っている。また、常に天気予報をチェックし、ボート競技の性質上、強風や落雷の危険がある時は施設内放送を利用し速やかに退避を呼び掛けている。</p>		<p>ボートコース内の安全管理において場内の定期巡視やモーターボートによるコース内巡視、利用中の沈や緊急時には、救助艇を速やかに出艇できるように準備している。モーターボートの運転時には、必ずライフジャケットを着用するように指導を行い、競技艇の乗艇時にも必要に応じて着用させている。</p>		<p>コース利用中における沼水面の巡回、救助艇の待機など、安全性を確保するとともに、気象条件にも注意し、関係機関との連携を密にしながら事故防止に努めている。</p>	
⑧県民の平等利用	<p>ボート場は、ボート競技だけでなく市民が参加する消防団の演習や花火大会、マラソンやグラウンドゴルフ大会に供与している。春には、桜の花見で賑わうため、駐車スペースやトイレの供用等も行っている。</p>		<p>ボート場内へ車両の乗り込みを禁止し、利用者が安全にボート運搬ができるようにしている。また、釣り糸・釣り針の放置やマナーの悪い釣り客等が多いため自然動物の保護と安全管理のため巡視を行うとともに、ボート場内での釣りは禁止している。</p>		<p>ボート大会のほか、地元イベントにも積極的に協力し、地域に親しまれる施設運営に努めている。また、全国規模の大会を継続的に開催するなど、幅広い利用者の増加に努めている。</p>	

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	個人情報の保護は、個人情報保護法に法り職員に十分周知、且つ宮城県の個人情報保護ガイドラインに従い対処している。	個人情報が記載された書類の保管は書庫に入れ施錠、廃棄する場合もシュレッダーにかけ処分をしている。	S	個人情報保護規定を整備し、個人情報保護に努めている。	A
⑩利用実績	利用人数と利用収益は、日ごと・月ごと・年ごとに集計し宮城県に報告している。	利用者の推移は、新型コロナウイルスの感染拡大によって各種大会やイベント等が中止となり、減少している。最近、感染者が若干づつではあるが減少傾向にあり各種大会やイベント等が通常通り開催できることを願います。	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、結果的には実績が減少となったが、コロナ影響による要因を除けば概ね計画どおりの利用数が見込まれた。引き続き、練習会や合宿利用を呼びかけるほか、全国規模の大会の誘致など、利用促進に努められたい。	A
⑪収支実績	収支についても新型コロナウイルスの感染拡大によって各種大会やイベント等が中止となり減少している。	令和3年度は、東京五輪のためにポーランドのボートチームが事前合宿のため長沼ボート場に来場し、長期利用があったために前年并比べ、利用収益が増となった。	S	新型コロナウイルス感染症の影響により、結果的には実績が減少となったが、コロナ影響による要因を除けば概ね計画どおりの利用料金収入が見込まれた。隣接する登米市のクラブハウスとの連携を図りながら合宿利用等の呼びかけをする等、安定した利用料金収入の確保に努められたい。	S
⑫その他の取組	このボート場も平成元年10月にオープンし34年目となり施設の老朽化が進んでいる。それに重ね、地震の被害も加え改修計画を年次ごとで進めて行く必要があると考える。	各所の破損に対し、直営又は外注で応急補修を行っている。	A	施設・備品の日常点検の実施による、施設の安全管理のほか、設備の更新を行うなど、利用者の利便性向上に向けた取組を行った。	A
総合評価		ボート場の維持管理と運営は、新型コロナウイルスの感染率に大きく左右されます。コロナ感染拡大で大会も思うように開催できず利用率の向上も見込めませんでした。少しでも早く、コロナが収束されることを願います。令和4年度には「第42回全日本中学選手権競漕大会」がこ長沼ボート場で開催予定されています。無事に開催できることを目指しています。	A	限られた予算の中、必要な修繕を計画的に実施した。今後の施設運営に当たっては、引き続き、合宿利用や大会誘致等を行い、利用促進や競技力向上への活動に期待したい。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	前記した様に、施設の各所が老朽化と災害によって損傷が出てきています。修繕計画や改修計画を少しでも前倒し、または新たな慣習改善計画を立て早期施行を希望します。	当施設の円滑な運営には、関係機関(県土木事務所、登米市、漁業協同組合等)との連携が不可欠であることから、今後も連携体制を強化し、利用者の利便性向上を図っていく必要がある。施設老朽化等による改修・修繕については、長期計画を作成し、計画的に行っていく。